

平成 21 年 7 月 17 日

各 位

本社所在地 京都市下京区中堂寺粟田町 93
 会社名 オプテックス・エフエー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小國 勇
 (コード 6661 大証ヘラクレス)
 問合せ先 取締役 管理部門統括
 坂口 誠邦
 (TEL 075-325-2930)

繰延税金資産の取崩し及び業績・配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 12 月期第 2 四半期において繰延税金資産の取崩しを行うこととしましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 21 年 2 月 10 日に公表いたしました平成 21 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）及び通期連結業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しとその内容

当社は、平成 21 年 12 月期第 2 四半期における業績の急激な悪化や厳しい経営環境を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当第 2 四半期会計期間において以下の通り取崩すことといたしました。

繰延税金資産取崩額（単体） 44 百万円

※ 単体及び連結の法人税等調整額（税金費用）として計上いたします。

持分法適用会社における繰延税金資産の取崩しによる影響額 15 百万円

※ 持分法投資損益（営業外費用）として連結財務諸表に計上いたします。

※ 持分法適用会社としての取崩額は 30 百万円であります。

2. 平成 21 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,600	0	2	0	0 円 00 銭
今回修正予想 (B)	1,333	27	9	△ 38	△1,525 円 12 銭
増 減 額 (B-A)	△ 267	27	7	△ 38	—
増 減 率 (%)	△ 16.7	—	350.0	—	—
ご参考:前期第 2 四半期(中間期) 連結累計期間実績	1,823	168	182	82	3,297 円 85 銭

3. 平成 21 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,700	220	225	130	5,217 円 53 銭
今回修正予想 (B)	2,900	40	30	△ 25	△1,003 円 37 銭
増減額 (B-A)	△ 800	△ 180	△ 195	△ 155	—
増減率 (%)	△ 21.6	△ 81.8	△ 86.7	—	—
ご参考：前期実績（平成 20 年 12 月期）	3,806	376	412	215	8,647 円 28 銭

4. 修正の理由

【第 2 四半期連結累計期間の業績予想数値の修正】

売上高におきましては、欧州をはじめとする海外市場向けが世界的な設備投資の減退に伴い第 2 四半期以降、総じて受注が落ち込んだことで汎用機器及びアプリケーション機器の売上が想定以上に減少いたしました。また、国内においては三品（食品、医薬品、化粧品）業界向けに画像センサは好調に推移いたしました。景気後退の影響で自動車、電機、半導体向けは厳しい状況となりました。この結果、売上高については、前回予想を 267 百万円下回る 1,333 百万円となる見込みであります。利益面では、全社一丸となりコストダウン、経費削減に取り組んだ結果、営業利益及び経常利益は黒字を計上することができましたが、第 2 四半期純損益は繰延税金資産の取崩しにより 38 百万円の損失となる見込みであります。

【通期の連結業績予想数値の修正】

第 3 四半期以降においては、国内において一部製造メーカーの設備投資の減速の下げ止まりと、アプリケーション機器の新機種の世界投入、同業他社との協業による電子部品、機械メーカーといった新規顧客の開拓で受注は上期に比べ持ち直すことが想定されますが、主要顧客である欧州向けは引き続き厳しい状況が続くものと予想され、通期の連結業績予想についても上記のように修正することといたします。

5. 配当予想の修正

基準日	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	第 4 四半期末	年間
前回発表予想	—	1,500 円 00 銭	—	2,000 円 00 銭	3,500 円 00 銭
今回修正予想	—	1,000 円 00 銭	—	1,500 円 00 銭	2,500 円 00 銭
ご参考：前期実績（平成 20 年 12 月期）	—	1,300 円 00 銭	—	3,100 円 00 銭	4,400 円 00 銭

6. 配当予想修正の理由

当期の期初段階におきましては、1 株当たりの年間配当 3,500 円 00 銭とする予定でしたが、第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正と株主還元とのバランスを総合的に勘案した結果、誠に遺憾ではございますが、1 株当たりの配当金を第 2 四半期末 1,000 円 00 銭、期末 1,500 円 00 銭、年間 2,500 円 00 銭に減配させていただく予定です。

(注) 上記の業績予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上